

## 領域4 インフォーマルミーティング議事メモ

報告者 樽茶清悟 (領域代表)

2008年9月21日(月) 12:40~13:40

岩手大学物理学会 YK 会場

代表 樽茶清悟 (東大工)(~2008.9)

副代表 江藤幹雄 (慶大理工)(~2009.9)

世話人 秋山 英文 (東大物性研)、河野 行雄 (理研)、遊佐 剛 (東北大理) (~2008.10)

川村 稔 (東大生産研)、福田 昭 (兵庫医大物理)、村山 明宏 (東北大多元研、10月  
から北大院情報科学) (~2009.4)

### 【報告事項】

1. プログラム小委員会・領域委員会 (2008.5.23)

(1)2008年秋季大会の招待・企画講演、シンポジウム講演の検討と決定

領域4 関連

招待講演: 1件を採択

企画講演: 提案なし

シンポジウム: 2件採択

領域7、4、9 合同 (条件付き)

領域11、3、4、9

注意事項

シンポジウムでは、「趣旨説明」や「まとめ」の登壇者と講演者が同一の研究室所属になることを避ける。また、シンポジウム提案者と講演者が同一の研究室所属になることを避ける。

以上は現在明文化されていないが、次々回のシンポジウム提案までに明文化の予定。(補足資料)

(2)第3回若手奨励賞選定スケジュール

募集締め切り: 2008年7月、領域からの受賞者推薦: 2008年9月

(3)第64回年次大会レビューセッション講師の選定

領域4から安藤恒也氏(東工大)を推薦、採択。

(4)若手奨励賞の受賞数の見直しについて意見交換

当初の予定では4回目以後に見直し(審議事項)

2. プログラム編成会議 (2008.6.13)

(1)事前にカバーシートを作成する際に、座長候補者の氏名・所属(できれば会員番号も)が記入されていると、当日の作業がスムーズに進行。カバーシート作成の時期に、周知するのが良い。

(2)暫定的だが、グラフェンセッションを領域7と合同で行う予定。このセッションのプログラムを担当する世話人は、部屋をどこにするか等について領域7世話人と協議しながら決める必要。

3. 領域4 メールングリスト (jps-semicon@appi.keio.ac.jp) への参加呼びかけ (継続的)

## 【審議事項】

### 1. 次々期世話人（任期：2009.5～2010.4）の承認

榎富龍一（東大理）、村上 修一（東工大）、三野弘文（千葉大理）

なお、次期領域代表、副代表、世話人は以下の通り

代表 江藤幹雄（慶大理工）（～2009.9）

副代表 平山祥郎（東北大理）（～2009.9）

世話人 川村 稔（東大生産研）、福田 昭（兵庫医大物理）、村山 明宏（東北大多元研）  
（～2009.4）

鵜沼毅也（名大工）、鈴木恭一（NTT 物性基礎研）、山本倫久（東大工）（～2009.10）

### 2. 世話人の仕事分担の確認

- ・プログラム編成（編成会議への出席は東京近郊の3名程度）各業務分担

...世話人の間で調整

- ・シンポジウム、招待講演、企画講演の計画

...提案数が少ない。なるべく広く意見交換して提案を集める必要。

### 3. 若手奨励賞受賞者数の見直し

第3回目までは最大2名を選定

4回目からの見直しについて

## 補足【シンポジウムにおける所属重複規制（新たに追記）】（事務局より）

- ・シンポジウムを構成する講演（「趣旨説明」や「まとめ」等を除く）は、一つの所属に偏らないことを原則とし、一つのシンポジウムで同じ部門（学科・専攻など）から2名以上の講演者を呼ぶことは、特別な理由がなければ認められない。（上の特別な理由として、異なる研究グループに属し、実験と理論など専門が異なる場合で、且つシンポジウム遂行にとって重要な講演者と判断できる場合を含むこととする。また、シンポジウムの講演者所属欄について、所属を略称表記すると同一になってしまうものは、違いが判るように研究グループ名や研究室名まで記載することとし、怠った場合は所属重複とみなし採択されないことがある。）
- ・シンポジウムにおいて、「趣旨説明」や「まとめ」等の短い講演とその他の講演（以下、本講演）の登壇者が同一研究室であることは認められない。また、提案者と本講演の登壇者が同一研究室である場合も審査の対象としないことがある。

シンポジウムは、特定グループの広報の場ではなく、重要なトピックについて広く議論を進める場であることを注意して欲しい。所属重複規制は、同一グループの広報の場にならないように設けたシンポジウムの実行ルールである。